

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【南区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和3年10月26日（火） 18：30～20：00

会 場：武蔵浦和コミュニティセンター 9階 多目的ホール

参 加 者：15名（傍聴者2名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事 務 局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### 〈発言1〉

現庁舎地の利活用についてですが、私はスポーツなどができる環境をつくっていただきたいと思います。理由は、私が小学校のころ、この辺の地域だと球技ができる場所が学校ぐらいしかなく、公園で行うのは危ないという看板などが張ってありました。現庁舎地をスポーツなどができる広場にさせていただくことによって、避難所にもなりますし、皆さんが交流できるコミュニティの広場にもなると思います。

##### 〈発言2〉

私は小さいころから市役所をよく訪れていました。幼稚園生のころは、水の流れる階段で遊んだりし、小学生になるころには、うなぎ踊りを広場で踊らせていただいたりしました。私にとっては思い出深いさいたま市役所が、今後も多くの子どもたちにとって大切な場所として在り続けてほしいと思います。

そこで、2つ、現庁舎地の利活用について提案します。

1つ目は、ランニングコースをつくることです。既に別所沼公園に大きなランニングコースがあり、私も時々足を運ぶのですが、人が密集していて、なかなか自分のペースで思うようにランニングができません。加えて、道路でランニングしている方がこの地域には多く、信号でランニングを中断したり、自転車が背後から来たりして危険だからです。これらの2点から新しいランニングコースを入れてほしいと思っています。小さい子どもからシニアの方まで、多世代の人々がいらっしゃるため、安全性のためにももう一つこの地域にランニングコースがあったらよいのではないかと思います。

そして、2つ目は、保護動物の施設を小さい規模でもよいので建てていただきたいと思います。さいたま市が運営している動物愛護ふれあいセンターでは、広場での動物とのふれあいイベントを定期的で開催していますが、このイベントを現庁舎地でも行うことにより、多くの保護犬・猫・小動物が譲渡され、場合によっては保護動物の殺処分を減らせるのではないかと思います。この動物愛護ふれあいセンターは桜区にあり、先日訪ねたところ、駅から大変遠く、私も武蔵浦和から自転車で伺いましたが、40分ほどかかりました。人口の多い現庁舎地にそのような施設があれば、より多くの方が保護動物に興味を持っていただけるとと思います。また、動物と触れ合える機会が身近にあったら、間違いなく子どもたち

が集まり、保護動物に対しての関心が高まると思います。

### ＜発言3＞

新庁舎整備について2点意見があります。

基本的に、今度できる庁舎はヘッドクォーター化していき、区役所や支所を充実させて、なるべく人が来ないような形にするべきだと思います。建物の耐震はあくまでリスクマネジメントです。建て替えが10年後ということであれば、DX化はかなり進展していると思いますので、電子申請、電子マネー、遠隔手続など抜本的に見直し、構築していくことが必要だと思います。そうすることによって、職員はもっと違うことに時間を割けると思います。

もう一点は、交通の問題です。駐車場の出入口の位置やコミュニティバスの話も出てくるとは思いますが、私としては特にアクセス面についてお話ししたいと思います。ペDESTリアンデッキを充実させて、横浜市役所のように駅から直接行けるようになるとよいと思います。横浜市役所はJRと直結しており、市道であれば道路構造物の扱いでペDESTリアンデッキができると思います。そうすることで交通渋滞を避けることもできると思います。

### ＜発言4＞

新庁舎の整備と現庁舎地の利活用に関してですが、私は新たなビジネスや地域づくりにチャレンジしている人が集まるイノベーション創出拠点としての施設を望みます。

そこには官民共創スペースというような形で、デジタルビジネスやアイデアを形にした、人と事業の発展を目指す起業家や、それを支援する人々が集まって交流する場をつくらせていただきたいです。私は群馬県内で勤務していますが、群馬県庁の32階にNETSUGENというスペースが今年できていまして、まさにそれが、今、私がお伝えしたようなことであり、既にもうスタートしています。何度か足を運んでみたのですが、中小企業をバックアップするような県の体制、それから民もそこにバックアップして入っていますので、いろいろな新しいものが生まれていることをかなり実感しています。ですので、埼玉県でも、さいたま市でも、このようなチャレンジをしていただくと、新たな魅力になると思いますし、起業家もどんどん増えて、新たなビジネスが生まれてくると思います。

### ＜発言5＞

新庁舎の整備について、私は、さいたま市外から来る方々に対して、市の魅力をアピールする施設をつくるべきだと思っています。新庁舎はさいたま新都心にできるということですが、近くにさいたまスーパーアリーナやコクーンシティなど、都市的な施設が集まっていますので、さいたま市外から来る方々も多くいると思います。そんな方々に、さいたま市の魅力を伝えるようなサービスを提供したり、展示品をつくったりするべきだと思います。特にさいたまスーパーアリーナでスポーツを観戦に来る方々向けに、関係するスポーツや浦和レッズなどの展示品をつくるべきだと思います。

### ＜発言6＞

新庁舎の整備についてですが、今の市役所は私も行くことがなく、すごく敷居が高いイメージがありますので、市民が来たくなくなるような市役所にするとよいと思います。例えばさいたま市の伝統民芸、伝統工芸品を紹介したり、なかなかアピールができない中小企業の製品を展示したりして、それを市民に見てもらえば、関心を持っていただけると思います。

現庁舎地の利活用については、図書館がいつも混んでいるイメージがあり、本もほかの市に比べて少ないというイメージがあるので、もう少し本や雑誌のスペースや、フリースペースも含めて広くなるような活用をしていただくとよいと思っています。

また、さいたま市は緑の多い市というイメージはありますが、緑といろいろなものを含めて一体化した、先ほどランニングという話もありましたが、大規模なものがあるなというイメージもあります。

#### <発言7>

新庁舎整備について、アクセスの問題なのですが、現市役所の最寄りの駅というと浦和駅なのですが、以前クイズ番組で、県庁所在地の中で急行と特急が止まらない駅はどこでしょうと出てきたこともあります。移転先の最寄りであるさいたま新都心駅では、急行や特急が停まるようにしていただきたいです。

もう一つは、庁舎の案内にAIのロボットを活用したり、ボードをつけたりするとよいと思います。現状では、どこに行けばよいのかわかりにくいので、それが簡単にわかるようになればよいと思います。

#### <発言8>

市役所のイメージについて、私は市民の生活を守る場所だと思っていますが、市長は市役所をどう考えているのか、お聞きしたいと思っています。

市役所の移転については、今後どんどん年金も少なくなり、生活もしづらくなっていきますので、費用対効果のよいものにしてほしいです。例えば、新庁舎の位置と大宮区役所は距離にしてそんなに離れていないと思います。そうした中で、図書館など重複するような施設がつけられることのないように、費用対効果という面を考えて進めているのでしょうか。

また、地域住民にとっては、今は区役所が大変機能していると思います。わざわざ浦和の本庁舎に出向くことはなくても、十分機能していると思います。今後莫大な費用を使って建てる新庁舎ですが、AIがあり、ITが進んできていますので、本庁に行かなくても区役所に行けば済んでしまうような、本庁と区役所が全て連携しつながらの仕組みができれば、より機能的な庁舎になり、費用も抑えられると私は考えています。その点、市長はどう考えているか聞きたいです。

#### <発言9>

私が市役所に行くのは、年に1回か2回程度だと思います。本当に手続をするのみです。会社で必要なときに書類を取るときしか利用していません。なので、自分がどうしたらもっと市役所を使うのか考えても、あまりイメージが湧きません。

現庁舎の利活用についてなのですが、8月のワークショップでも申し上げましたが、若い方や小さい方、学生やお子さんに目を向けつつも、社会としては高齢化が進みますので、高齢者の方に行きたいと思われる施設を是非考えてつくってほしいです。先ほどランニングのお話もありましたが、私も別所沼で週末、会社がないときは朝早く行ってランニングした後、ラジオ体操をしています。高齢の方がすごく多く参加されています。ただ、ラジオ体操の後、少しお話ししてすぐに帰っていかれる方が多いので、そのときに座って休めるスペースがあれば、もう少しゆっくり外でお話できると思います。学生や小さいお子さんが高齢者と交わって、高齢者の方の知恵や知識も学べるような施設やスペースがあればよいと思っています。

#### <発言10>

市役所は少し古めかしいイメージです。市民にとって市役所はシンボルのような存在なので、夜、イルミネーションがライトアップしてきれいな町並みのさいたま新都心に移転するのはとてもよいと思います。自分たちが住んでいるまちを誇りに思えるようなきれいな市役所にしていただきたく、例えば東京都庁の展望室のような、社会科見学などで訪れた際に楽しめ、観望できるようなものがとてもよいと思います。

## < 発言 1 1 >

まず市役所のイメージについてなのですが、私もさいたま市に住んで16年ぐらいたちますが、市役所の本庁舎には行ったことがありません。先ほどお話もあったのですが、区役所に行けば手続きできることが多く、市役所は10区を統括しているようなイメージしか持たないので、もう少し市役所をアピールしてほしいです。

新庁舎の整備についてお願いしたいのは、テーマ説明資料にあった新庁舎整備の8つの基本理念の3つ目のDXに関してです。今後DXがさらに進んでいくと思いますので、大災害になったときのネットワークをもっと強化してほしいです。10年前の東日本大震災のとき、東北地方に住む実家となかなか連絡が取れずとても混乱しました。2週間ほど前にさいたま市でも大きな地震がありましたが、そのときも怖い思いをしたので、是非ネットワークの強化を進めてほしいです。

また、基本理念5つ目のSDGsに関してですが、最近テレビでも特集されることもありますが、SDGsを知っている人はそれほどいないと思います。私も、今年大学院に進学して授業で初めて知りました。ですので、SDGsをアピールしてほしいです。

現庁舎地の利活用については、私も図書館をもう少し充実してほしいです。税法の大学院に行っていますが、税法の本がなかなかありませんので充実するとよいと思います。

## ◆市長

### >> 発言 1

現庁舎地の利活用についてということで、学校以外にもスポーツができる広場をつくってほしいという御意見をいただきました。

お話のとおり、スポーツができる場所が少なくなってきていると私たちも認識をしています。そんな中で、さいたま市では、市が所有している土地で、未利用だが使用可能な場所を「スポーツもできる多目的広場」として開設しています。高齢化の時代ですが、高齢者の皆さんはとてよくスポーツをしています。さいたま市では、週1回以上スポーツをする人の割合が急激に伸びまして、令和2年度は66.6%で、これは政令指定都市では2番目に高い数字です。ですので、そういったスポーツの機会が今後ますます必要になるということは、私たちも認識しています。

### >> 発言 2

市役所そのものは非常に思い出深く、子どものころから水の流れる階段で遊ぶなど、行く機会が多かった、大切な場所だと言ってくださいました。多くの皆さんにとって今の市役所は、お話があったように段床があり夏場には水遊びができたり、トルーカの鐘の広場があったりして、印象的で思い出に残る場所だと思います。そういった場所ですから、大切にしていきたいという思いもあります。

現庁舎地の利活用については、ランニングができる場所や、また保護動物などと触れ合える場所にしてほしいという御意見をいただきました。市民の皆さんが何らかの形で集まって来られるような、広場といえるような場所も必要であると考えています。

### >> 発言 3

新庁舎の整備に関して、基本的には直接の市民サービスは区役所で行われているので、本庁舎はヘッドクォーター的な、企業でいうと本社のような役割を充実させる必要があるのではないかという御意見や、デジタルトランスフォーメーションを含めたデジタル化を並行してしっかりと進めてほしいとのお話をいただきました。

また、駅から本庁舎まで直結のペDESTリアンデッキをつくるなど、アクセス面をしっかりと考えていくべきとの御意見を頂戴しました。

本庁舎については、ヘッドクォーター的な役割、例えば広域的な計画をつくったり、企

画をしたりという部署になってくると思います。今ある本庁舎の1階の部分は浦和区役所ですが、2階以上は、そういったヘッドクォーター的な役割を果たしている部署ということになりますので、そういった部署が新庁舎に入ることになると思います。ただその際には、多くの方からも御指摘がありました。デジタル化についてしっかり意識しておく必要があると思います。

さいたま市でも、先般「さいたまデジタル八策」という方向性を示しました。例えば、これから市役所、区役所に来なくても、デジタル化を図っていくことで、申請や届出などの手続をネット上でできるようにしていこうというものがありますが、こちらについては、令和7年度までに原則全ての行政手続きをオンライン化することを目指して進めています。もちろん、高齢者の皆さんを含めてなかなかすぐにデジタル化に進むことができない方も多くいらっしゃると思いますので、そういったことにも丁寧に対応しながら進めていきたいと考えています。

また、駅からペDESTリアンデッキなどで庁舎までつなげていくとのお話も、とても重要な視点だと思います。私も昨年、横浜市役所を見てきました。駅から直結していきやすいですし、またちょうど町場との接点になるような場所にあり、今までの市役所と大分イメージが違い、新しい時代のよい市役所になっているという感じがしました。そういったところも参考にしていきたいと思います。

#### >> 発言4

群馬県庁舎にあるスペースを参考に、イノベーションの創出拠点とし、官民共創のスペースをつくってはどうかという御提案をいただきました。

起業家を育成していくという視点はしっかり持つていく必要があると思います。さいたま市はこれからあと10年で人口減少が始まり、少子化、人口減、高齢化が進んでいくと予想されています。その中で、市民サービスをしっかり維持していくためには、歳入を増やす取組をしていかなければなりませんので、そういった意味ではイノベーション拠点という視点は大変重要だと思います。

#### >> 発言5

新庁舎に関しては、周辺にさいたまスーパーアリーナやコクーンシティがありさいたま市外からも多くの人が集まるので、特に市外から来る人に対して魅力をアピールできる場所にしたらよいのではないかと御意見を頂戴しました。

これからの市役所は、ヘッドクォーターという面のほか、市のシンボリックな場所という側面も出てくると思います。

テーマ説明でも新庁舎の機能の中にありました、災害時の対応に関して言うと、災害時は何らかのスペースが必要になってくることも当然想定されます。現在、各区役所と本庁舎に災害対策本部が置かれ様々なことを行っており、さらにそれぞれの防災拠点と連携をしながら災害対応をしています。これから大きな地震が起こることも予測されていますが、区役所はスペースにあまり余裕がないのが現状ですので、災害時にも臨機応変に対応できるよう考えていくことが必要です。また、災害の状況をいち早く察知し、把握していくことも必要になると思いますし、本庁舎はこれらを踏まえた場所になっていくと思います。

また新庁舎は、さいたま市の魅力やさいたま市が目指していることなどを、市民はもちろん市外の皆さんに対してもしっかりとお伝えできるような施設にすることも、とても重要だと思います。先日のタウンミーティングでも、さいたま市役所に行ってもそういった市の魅力を発信するようなものがなく、なかなか市の特色が見えてこないののでしっかり発信できる場所にしてほしいとの御指摘もありましたので、しっかり意識してそういった場所にしていく必要があると思います。

#### >> 発言6

新庁舎は市民が行きたくなるような場所として、例えば伝統産業や中小企業のアピールの場として活用するのもよいのではないかというお話がありました。また、現庁舎地の利活用として図書館のお話や、緑の多いイメージがさいたま市にはあるが、もっと緑を生かしたものにしてほしいという御意見も頂戴をしました。

市民が行きたくなるような場所に関しての御提案については、新庁舎の整備、現庁舎地の利活用どちらでも考えられると思います。図書館について言うと、さいたま市は政令指定都市の中で図書館の数はナンバーワンです。大阪市よりも多く、今25か所あり、浦和のコムナーレの中にあるのが中央図書館で、センター機能を持っています。ただ、本の冊数については、まだ十分ではないと思っています。こちらの武蔵浦和図書館もそうだと思いますが、図書館は大変多くの方に御利用いただいております、とても期待され、また利用されている施設でもありますので、そういったことも意識して検討する必要もあると思います。こちらはテーマ説明でお話しした利活用の考え方のうち、文化芸術機能の一つといえるかもしれません。

## >> 発言 7

交通アクセスについては、急行や特急が停まる場所にしてほしいというお話がありました。こちらは新庁舎に行きやすくしてほしいという意味もあるかと思っています。また、市役所の案内に関して、AIやロボットなど先進技術の活用や、行きたい場所がわかるように表示してほしいというお話もいただきました。

自分のしたい用事が何課に行けばできるのか、少しわかりにくいという声もよく聞きますので、できるだけわかりやすくしていきたいと思います。特に一番身近な市民生活の分野はほとんど区役所で行いますが、最近は福祉の分野について言うと、福祉丸ごと相談センターを一部の区役所内につくり、福祉の各分野を超えた包括的な支援の構築を目指しています。相談をすると、関連する事業や制度あるいはサポートできるようなサービスが複数になることもありますので、これらをしっかり市民の皆さんに提示し、相談に対応できるようにしていきたいと思っています。また、行きたい場所に迷わず行けるということも重要ですので、わかりやすく案内できるような機能もしっかりつくりたいと思います。

## >> 発言 8

市役所のイメージについて、市長の考えはどうかというお話がありました。

基本的には、一番重要な場所は区役所だと認識しています。なぜならば、区役所が市民の皆さんの様々なサービスを提供する場所であるからです。ただ、もう一方で、区役所だけではできない機能がありまして、それは先ほど他の方から御指摘いただいたヘッドクォーター的な機能です。ヘッドクォーターといっても上下関係があるわけではなく、全体を見渡しながら政策をつくったり、様々な対応を考えたり、あるいは10区で調整をして進めていかなければならない事業もたくさんあります。今の市役所の2階から上の階は、全てそういったことが行われている場所になります。区役所もちろん重要で、大切な場所であると思っていますが、一方でもう一つの市役所、本庁舎という場所も、同じように重要な場所になると思っています。

また、市役所移転の費用対効果のお話もありましたが、こちらは事業費の221億円という金額がどの程度のものだろうということだと思います。この事業費は、現時点では概算の数字です。先ほども御説明したとおり、現庁舎はあと使っても15年ですので、どこかに新しく建てなければなりません。本庁舎のあり方についてのこれまでの経緯や審議会の答申、またさいたま市としても全市的なまちづくりという視点も踏まえ、庁舎をさいたま新都心に移転する方針は、決定しました。できるだけ税金で支払うべき建設費を少なくしたいという思いは同じです。ですから、PFIをはじめとした民間活力をできるだけ活用し、そしてできるだけ建設費を低減させて、移転を実現したいと思っています。

また、大宮区役所と重複するような施設があるのではないかというような御指摘もあり

ましたが、それぞれ区役所と市役所との役割分担はできていますので、機能としては基本的に重複するものではありません。

221億円は非常に大きな費用であり、市民が直接行かない場所なのにあまりお金をかけてほしくないという気持ちは皆さんお持ちだと思いますので、できるだけ費用がかからない方法で実現していきたいと考えています。ただ、いずれにしても、あと15年ぐらいの間には、本庁舎を建て替えないと市民の皆さんにも職員にも迷惑をかけるという状況になりますので、コストのことを考え、15年使うのではなく、10年で建て替える、つまり移転をするという決断をさせていただきました。

## >> 発言 9

市役所については、年に1、2回ぐらいしか使わないというお話がありました。市役所や区役所には、頻繁に行かれる方もいらっしゃると思いますが、あまり行かない方がたくさんいらっしゃると思います。そういう意味でも、できるだけコストをかけずに建て替えをしたいという思いはあります。災害を始めいろいろなものに対応でき、いざというときには区役所をバックアップできるような機能的なものにしていきたいと思っています。

また、現庁舎地の利活用についても、小さな子どもや若い方だけではなく、高齢者の方も行きたくするような施設、場所にしてほしいという御提案をいただきました。私たちもそういう場所にしたいと思っています。別所沼公園は素晴らしいですね。私も時々ランニングしますが、たくさんの方が集って、ランニングされる方、ウォーキングされる方、あるいはゆっくり休んでいたり、絵を描いていたり、本当にたくさんの皆さんが集まってくる、素晴らしい場所だと思います。そういった市民の皆さんが集まって憩えるような機能も必要ではないかと私どもも考えています。

## >> 発言 10

市役所は少し古めかしいイメージがあるとのことでした。市役所は、市全体のシンボルになるイメージなので、住んでいる人たちが誇りに思えるような、また行きたいと思えるような場所にしてほしいとの要望や、例として展望室をつくってはどうかという御提案もいただきました。

一般的な市民サービスは区役所で行いますが、かといって市民が市役所に全く行かないということではなく、集っていただけるような場所にしていきたいと思っています。

## >> 発言 11

市役所については、あまり行ったことがないというお話がありました。市役所に行ったことがない、また区役所も時々しか利用しないという方が大半だと思います。そういった中で、新庁舎は大きな予算を投じてつくることになりますので、新庁舎の役割や重要さを、もっと市民の皆さんに理解していただけるよう努めていく必要があると思います。

また、デジタルトランスフォーメーションについてもお話をいただきました。特に災害時のネットワークの強化という御提案、またSDGsについてのお話もいただきました。

新庁舎は、災害時に機能を発揮できるものにしたいと思っています。さいたま市は、国の首都圏広域地方計画の中で、首都直下地震があった際の首都機能のバックアップ拠点という位置づけとなっています。そのメインになるのが、さいたま新都心を中心としたエリアになると思います。国の多くの省庁が移転をしてくれていますので、地震により東京都の機能が壊滅的になったときに、このさいたま新都心などが活用されるのではないかとという話もあります。さいたま市は比較的地震に強いと言われている地域でもありますので、その中でしっかり首都直下地震などの災害時に活用ができる拠点にしていきたいと思っています。

SDGsについても、誰一人取り残さない、持続可能な社会をつくっていくといった理念だけではなく、具体的な17のゴールを含めて、御理解いただけるようにしていきたいと思っています。

また、現庁舎地の利活用において、図書館といった機能もあるのではないかという御提案だと思います。図書館の機能についても、またこのデジタル化を見据えながら、いろいろ検討していくことが必要だと思います。

## ●参加者

### <発言12>

まちづくりの方向性について、私は沼影公園のプールのことを皆さんに知ってほしくてお話しします。

浦和で生まれ育ち、子育てをし、今は後期高齢者になりつつあります。沼影のプールができたころから、子どもを連れて通いました。私も40年前から泳いでいます。仲間もできました。市長も別所沼公園で今も走っており、さいたま国際マラソンにもいらっしやっただかと思えます。運動を続けているからこそ、健康でいられ、働けます。そして働いて税金も納められます。しかし、沼影に新しい学校が建設されることにより、そのプールが取り壊されます。7、8年ぐらい使えなくなってしまうたら、医療費が多くかかるようになってしまうと思えます。私たちの年代はとても利用者が多いです。学校の建設に反対ではないのです。建物を壊す直前まで使えるようにした上で、新しいプールに移行するとか、泳げない日を極力少なくする方法を一緒に考えてほしいです。東京都の場合は、区立の中学校や高校を開放していると聞いていますが、さいたま市は難しいのでしょうか。是非、健康維持のために泳げる施設の確保をしてください。一度市長も市民の生き生きと泳いでいる姿を見に来てください。高齢者がスポーツをやめたら、医療費は絶対多くかかってしまうと思えます。

### <発言13>

私は今桜区に住んでいます。この南区のミーティングに参加したのは、実は桜区の区役所はここへ来るより遥かに行きづらいからです。今日はテーマ説明で掲げられている聞きたいことの3つ全てについてお話ししたいと思えます。

まず一番重要なことは、危機管理体制をどうするかということです。地震・台風などの重大災害やインフラのダウン、またサイバー攻撃やテロ攻撃に対して、新庁舎がどのような形で対応できるでしょうか。

私も考えたのですが、一極集中という形ではなく、二分するというイメージはどうでしょうか。例えば新庁舎に加え、跡地となる浦和にも分庁舎的なものを設け、機能を分散させておけば、どちらかが駄目になっても片方は残ります。

また、跡地の使い方ですが、公共の箱物はもう絶対にやめていただきたいと思えます。今の庁舎は、交通アクセスの面ではかなり悪いと言わざるを得ないと思うので、わざわざ箱物をつくってもしょうがないと思えます。箱物でしたら、浦和駅西口再開発の市民会館うらわの方に行けばよいと思えます。

そこで、跡地にはビジネスセンター、ITセンターのようなものをつくり、民間活力を導入して建設・運用費用の削減を図っていけばよいと思えます。お話で出てきた横浜の新市庁舎ですが、テレビでも見ますが、私としては、ああいう高層ビルでよいのだろうかという気がします。

## ◆市長

### >>発言12

沼影市民プールのお話がありました。御存知でない方もいらっしやるかもしれませんが、沼影市民プールがあるところに、義務教育学校をつくらせていただくこととなります。この周辺の小・中学校の児童・生徒数が多く、満杯状態になっています。さいたま市は0歳から14歳の方々の転入超過数が6年連続で全国第1位です。それだけ子育て世代の皆さんが、さいたま市を選び住んでいただいているという状況であり、この武蔵浦和駅周辺は特

に子育て世代が多く住む地域でもあります。そのため、児童・生徒数が非常に多くなってきているものから、沼影市民プールがあるところに小中学校9年間の教育を一貫して行う義務教育学校をつくるという方針を今示しているところです。

沼影市民プールは、レクリエーションプールと、屋内プールがあり、特に屋内プールは今お話をされたように、競技として水泳をされている方、健康のためにされている方などとても多くの方に使われています。そのことは十分理解していますので、基本的には義務教育学校と体育館、屋内プールは、このエリア内につくる方向性でいます。

ただお話のとおり、工事によって使えない期間がどのくらいあるのかという不安があると思いますので、できるだけ使えない期間を短くできるようにしたいと考えています。また、使えない間の代替手段として、何らかの方策が取れないかということも、関係部局と調整し検討しているということです。今回の発言が、ほかのいろいろな方の思いの代弁でもあると思いますので、こうした問題が解消ができるようにしていきたいと思っています。

### >> 発言 13

一番重要な点は危機管理であり、インフラのダウンやサイバー攻撃に対するセキュリティ面などにしっかり対応していく必要があるのではないかとのことでした。また、本庁機能は一極集中だけではなく、分散という考え方もあるのではないかと御提案もいただきました。

区役所と本庁舎では役割分担があるので分散はしていますが、本庁舎についてはできるだけ1か所にしていきたいという思いはあります。ただ一方で、災害時の対応についても十分に踏まえていかななくてはならないと思いますので、現庁舎地の利活用については、このことも意識して考えていく必要があると思います。

また、基本的には箱物は要らないのではないかと、ビジネスセンターやITセンターのようなものをつくり、民活を導入する、要するに行政がつくるものではなくて、民間の力を使ったものをつくった方がよいのではないかと御提案をいただきました。

市の考え方としては、公共施設をつくる時は、できるだけ行政の負担が減るように民間企業と連携するなど、いろいろな方法を検討して進めていくことを基本としています。テーマ説明での利活用の考え方で示した3つの機能については、それを全部そこに持っていけるのか、あるいはどれか1個だけになるのか、これはまだこれから精査をしていくこととなりますが、御提案いただいたことも踏まえて検討していきたいと思っています。また、現庁舎地は少し駅から遠く交通アクセスがよくないという指摘もありましたので、それも含めて考えていきたいと思っています。

浦和駅周辺のまちづくりについては、今までは浦和のまちは駅のごく近い場所だけを中心に円を描いていましたが、もう少し広域的な視点から考えていこうということで、隈研吾さんなどにも参加していただき、この浦和のまちが県都として、また文教都市としてどういうまちをつくっていったらよいのかという全体の青写真と、考え方や方針をすり合わせながら、土地活用を考えていきたいと思っています。

そういった視点から、単なる箱物ということではなく、市民の皆さんにとって非常に有用なものになると考えています。まだ具体的に何をつくるかという検討までは進んでいませんが、利活用の一つの考え方として、3つの機能を提示しているところです。

旧浦和市内の皆さんにとっては、浦和の区役所、今の本庁舎は、とても思い出深い場所であり、大切に育ててきた場所であると思っています。まちづくり全体の考え方や市としての財政状況、今後の市の人口の変容など、様々なことを十分に踏まえながら、この跡地の利用についても考えていきたいと思っています。

今日は、多くの皆さんからたくさんのヒントや考え方、具体的な事例なども含めて御意

見を頂戴いたしました。私たちも、こうした皆さんの声をしっかりと受け止めながら、どういう施設にすべきか、さらに検討を進めていきたいと思えます。

平日の夕方、もう学校や会社の、あるいはお仕事の後で大変お疲れのところでありましたが、こうしてこのタウンミーティングに出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

私たちも、引き続き皆さんの声を聞きながらしっかりと判断し、また結論を出し、前に進めていきたいと思っています。また、このタウンミーティングが終わった後も、パブリック・コメントがもう少し続きますので、今日少し言い足りなかったことなどがありましたら、そちらの方に御意見をお寄せいただければありがたいと思っています。

長時間にわたりまして、皆さんには御協力をいただきまして、ありがとうございます。十分皆さんからの気持ちが伝えられたかどうか、あるいは私自身も皆さんの気持ちや御意見を受け止められたかどうか、まだ十分ではないところもあるかもしれませんが、しっかりとまた受け止めながら、今後の計画づくりを進めていきたいと思えますので、どうぞよろしく願います。今日は本当にありがとうございました。

#### ■ 補足説明

「0歳から14歳の転入超過」について

出典と時点については、以下のとおりです。

「住民基本台帳人口移動報告（2020年結果）」（総務省）

（市長公室 シティセールス推進課）